

2016年8月7日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2016年33号)

邦人被害の発生状況

当館が8月9日から10日かけて把握した、リオ市における邦人被害は以下の通りです。

- ① 7月28日(木)19時30分頃、邦人男性1名がリオ市ジャカレパグア地区のレストランにおいて、カバンを椅子の横の床に置いて食事を取り、21時頃、会計を済ませて店を出ようとしたところ、置いておいたカバンがなくなっていることに気付いた。カバンの中には、クレジットカードの入った財布などが在中していた。
その後、7月30日(土)午後21時頃、リオ市バツハ地区のショッピングモールにおいて、2回にわたって盗まれたカードが、本人の知らない間に使用(それぞれ、2810リアル、1728リアル)されていたことに気付いた。
- ② 8月7日(日)午前11時30分頃、邦人男性がリオ市コパカバーナ地区のビーチバレー会場内において、財布(現金400ドル、カード等在中)をすり取られた。
- ③ 8月8日(月)午後11時30分頃、邦人男性2名がリオ市コパカバーナ地区のアトランティカ大通り(2516番地付近)を歩いていたところ、ズボンのポケットに入っていたスマートフォン(iPhone)1台(時価700ドル相当)をすり取られた。男性2名は、上記場所において、推定20歳代の女性4名(売春婦のようにみえたとのこと)に囲まれ、抱きつかれそうになったところを拒絶するなどのいざこざに巻き込まれており、その際にすり取られた可能性が高いと話している。
- ④ 邦人男性が、クレジットカード情報を盗み取られるスキミング被害に遭い、7月10日から8月3日にかけて、計8万ドル相当の詐欺被害に遭った。邦人男性は、カード会社からの使用限度を超過している旨の通知により、被害にあったことを認知した。

【当館からのアドバイス】

- カバン等自分の持ち物から目を離さないようにしましょう
- 万が一、カードスキミングに遭っても被害を最小限に抑えられるよう、カードの支払い状況をこまめにチェックしましょう。

- 外出する際は、なるべく華美な服装はさけましょう。
- 多額の現金を持ち歩かないようにしましょう。
- 常に自分が警戒していることを周りにアピールしましょう。
- スマートフォン、カメラ等は不必要な際にはカバン等に収納しておきましょう。
- 万が一、強盗に遭ってしまったら、決して抵抗せず、相手の要求に従って下さい。